

からしだね通信

6
2016



おかげさまで からしだねは10周年

これからもよろしくお祝い申し上げます

「言葉」について—からしだね 10 年を迎えて—

口ごもることには意味がある。確か、そんな意味のことを歌人の永田和宏氏が言っていました。あまりにも素早く相手と繋がれる言葉というのは胡散臭い、口ごもりながら自分の言葉を探す時間が大事ではないか、と。言葉を大事にする歌人らしい言葉ですが、今の時代の、言葉の軽さに対する危機感というか、警告のようにも聞きました。あるいは今は、言葉の氾濫と裏腹に、言葉に対する畏れというものがだんだん失せて行っている時代なのかもしれません。政治家の言葉にしてもしかりで、威勢よく声を張り上げる割に人々に届きません。

短い言葉が飛び交い、滑らかな言葉が滑って行く。否も応もなく、私たちはそんな時代に生きています。だからこそ、自戒を込めて、言葉を大事にすることを心がけて行きたいと思っています。今年、からしだねは開設10年を迎えるのですが、考えてみれば、からしだねは「言葉」によって始められ、「言葉」によって今日までの歩みを重ねて来たように思います。それは、人の心に届く神の言葉であり、口ごもりながら発せられた一人一人の「言葉」によって辿られた道のりでした。言葉には力があることを信じ、ためらいながらも、たどたどしくても、真実な言葉を探し続け、人に届けて行けるような歩みを、これからも私たちはして行きたいと思っています。

理事長 坂岡隆司

センター報告

センターでは、日々の直接的な支援以外に外部の機関とのつながり、地域への発信など様々な役割を担っています。今年度は、視点を変えてセンターの役割を紹介していきます。第1回目は地域移行・地域定着支援です。

地域移行・地域定着支援

地域移行・地域定着支援事業とは

障害のある方が住み慣れた地域で充実した生活を送ることができるように支援をする事業です。入院や入所をされている方が地域生活へ移行できるように関係機関が連携をし、サポート体制を組みます。ご本人からの希望があれば利用できます。

○地域移行支援…入院中（入所中）に利用できるサービスです。病院（施設）訪問・外出支援・事業所の体験利用や体験宿泊を行う際の支援をします。

○地域定着支援…退院後（退所後）に利用できるサービスです。長期入院から退院されたばかりの方、地域生活が不安定な方などを対象に地域生活を継続するため、常時の連絡体制・支援体制をとります。

ケース紹介

～退院支援で関わっている現在入院中の方のケースです～

Aさん・男性
の場合…

看護師さんに支えてもらいながらでないと、歩行が困難なAさん…。意思疎通もスムーズにいかない方です。退院を希望されていますが、正直、地域での生活をイメージしづらいです。

退院後は一人暮らしをされる予定です。病院のように見守りの体制が無くなってしまいます。“移動は大丈夫？食事は摂れるの？命の危険はないだろうか…？”心配事が山積みです。

病院のワーカーさんが退院に向け、一生懸命動いてくださっています。それを受けて地域の支援センターとして何ができるのか…、病院側と地域側が足並みをそろえてご本人さんの退院を応援できるよう、悩みながら支援中です。

実務者会議

京都市では月に1回、病院のワーカーや地域の相談支援事業所の相談員が集まり、「地域移行・地域定着実務者会議」を開催しています。からしだねセンターからも相談員が出席しています。



会議風景

ケース検討・報告
意見交換

事業の普及・
啓発

病院見学会

研修会開催



精神科の病院を退院し、地域での暮らしを始めるにあたって、「自宅でしんどくなったらどうしよう…」「身のまわりのことがきちんとできるかな…」と不安でいっぱいの方やご家族の相談を受けることがあります。からしだねセンターでは、ヘルパーさんや訪問看護など、具体的な医療や福祉のサービスを調整したりして、少しでも安心して地域での生活が継続できるようにお手伝いをしています。それでも不安や心配事は尽きません。傍らに立ち、今日一日踏ん張って！！と応援することしかできないことの方が多いですが、医療や福祉の関係機関と連携しながら、地域で生活し続けるためにできることを探りながら、目の前の方との関わりを継続したいと思っています。

ワークス報告

～お仕事紹介～

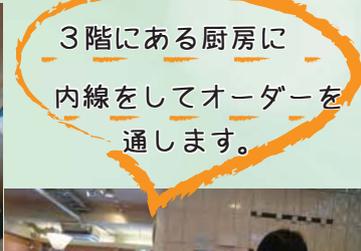
ワークスでは、40名を超える利用者の方がお仕事をされています。皆さんそれぞれのセクションで活躍されています。今年度は皆さんの活躍をセクションごとに紹介していきます。

カフェ

からだね館の1階はカフェの営業をしています。その名も「カフェ トライアングル」。味・サービス・居心地の良さでお客様に選んでいただけるお店を目指し、店づくりに取り組んでいます。皆様のご来店をお待ちしております…



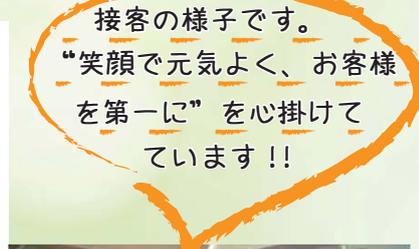
開店作業中!!
お手洗いは特に
ピカピカに掃除を
します。



3階にある厨房に
内線をしてオーダーを
通します。



慎重にスープを
注いでいます…
全てのお食事に当店自慢
のスープが付きます。



接客の様子です。
“笑顔で元気よく、お客様
を第一に”を心掛けて
ています!!



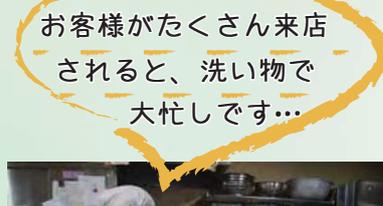
厨房

カフェの「食」の部分を担当する厨房。日替わりランチ、オムライス、スパゲティなどなど…、「出来立ての美味しさをそのままお客様にお届けしたい」という思いを胸に、皆さん真剣です。配食サービスのお弁当も厨房で作ります!!

食材を切ったり、数え
たり… 皆さん本当に
手際がいいです。



薄焼き卵を作成中!!
とってもきれいな
仕上がりです。



お客様がたくさん来店
されると、洗い物で
大忙しです…



人気メニューの
日替わりヘルシー
ランチです。

いつもからだねワークスのことに関心持って見て頂き、応援くださり有難うございます。2016年度のからだねワークスも新しい取り組みがいっぱいあります。これまでの取り組みに加え、お弁当・焼き菓子・雑貨の外販、ハウス栽培の委託管理の仕事、貸して頂ける畑を使った野菜の生産（小規模ですが）、町内会の児童公園の管理（草刈り・清掃）などなど。様々なタイプの利用者の働く機会を広げていきます。各事業・取り組みの詳細は上記の通り順次紹介させていただきますのでお楽しみに！質問や感想など是非お寄せください。



「最初は続くのかなと思った」

今回は社会復帰に1歩踏み出してから現在までのことを振り返りながら、当事者と、一緒に寄り添ってきた支援者のそれぞれの思いを対談形式で語り合っていました。

当事者と支援者 それぞれの思い

当事者

MT

2012年10月号、
2013年11月号に登場

支援者

武山

『から☆メモ』の人物
武田さんのモデル

という気持ちでしたね。

武山 そっとしておいてほしいという気持ちはわかってきましたが、ここまで積み上げてやめてしまふのはもったいないという思いでした。でもいつも素直に話を聞いていただけたのは嬉しかったです。

MT それで1か月休むことになって、ずっと家で寝てました。何もしたくなくて横になっているのが一番よかった。何かをして気を紛らわすとかできませんでした。休み明けにどうだったか聞かれて、ゆっくりしてたと言いました。

武山 そうでしたか(笑)Mさん自身、行かないことで焦りとか戻りたいという気持ちになられるかなと私たちは思ってたんですが、とりあえず今の状態はよくないということで週1回から再開して、そしたらものの1か月で週3日にシフトを戻されました。

MT 利用再開する前に、OTの職員さんに恋愛を持ち出さないという誓約書を書かせられてスタートしたので…。

武山 了承したのはこのままではだめだと納得したからですか？

MT そうだと思います。それで日数も増やしていったんじゃないかな。

武山 それから程なく、今度は接客で壁にぶつかり、カフェの作業をやめたいとまで言われましたね。

MT (接客は)無理だと思いました。考えている通りにできなくて…。職員さんには言葉遣いとか丁寧だと言われても自分では使い慣れてないのでうまく言葉が出てこない感じです。

武山 あのときは、こちらもどうしたら

武山 最初、からしだね館に来たときのこと覚えておられますか？

MT 病院の職員さんから勧められて、何人かで一緒に伺わせてもらいました。

武山 お父様が亡くなられ(家でゲームして過ごす)この生活が続かないと実感して、1歩踏み出したって言っておられましたね。家での期間が長かったので、続けていけるのか心配でした。しかも、仕事はしたくないと言われていたので。

MT そのときは、続くかとか考えず、言われるままに利用を始めました。

武山 実際どうでしたか。

MT どうだったかな。

武山 最初は週1回からの利用でしたけど、1年後には週3回になりました。OT(作業療法士)に勧められて来たそう

ですが、徐々に積極的になって来られました。最近ではスキルアップについて発言されるようになりましたね。カフェでの接客も当初は絶対嫌だと言っておられたのにご自身からシフトに入るようになられました。

MT はじめ考えてなかったんですが平利利用していたOTで人とコミュニケーションをとれるようになっていったので、接客もいけるかなと思いました。OTでも最初は話しかけられるのもしやべ

るのも嫌でしたが作業しながらというのがよかったです。仕事を選ぶ幅を広げるため接客もやるうと思えました。

武山 最初は話しかけてほしくなかったのは自信がなかったからですか？

MT 人と話す経験がなかったからか

も。

武山 なるほど。2年後には順調に週5日になりました。でも翌月には突然「ワークスをやめたい」と。

MT OTの職員さんに失恋したんです。

武山 そうでしたか。意欲も落ちて、しんどくなられて、ワークスをやめると。

MT 気落ちして、やる気が全く起きなくなりました。長く続きましたね。

武山 周りの反応、どうでしたか？

MT 実はあまり覚えていないんですが、説得はされていたような…。

武山 私たちも病院のOTの方と一緒になって言わせてもらったんですが、うるさかったらうなと思います。

MT あのときは、理解してもらえない

という気持ちでしたね。

武山 そっとしておいてほしいという気持ちはわかってきましたが、ここまで積み上げてやめてしまふのはもったいないという思いでした。でもいつも素直に話を聞いていただけたのは嬉しかったです。

MT それで1か月休むことになって、ずっと家で寝てました。何もしたくなくて横になっているのが一番よかった。何かをして気を紛らわすとかできませんでした。休み明けにどうだったか聞かれて、ゆっくりしてたと言いました。

武山 そうでしたか(笑)Mさん自身、行かないことで焦りとか戻りたいという気持ちになられるかなと私たちは思ってたんですが、とりあえず今の状態はよくないということで週1回から再開して、そしたらものの1か月で週3日にシフトを戻されました。

MT 利用再開する前に、OTの職員さんに恋愛を持ち出さないという誓約書を書かせられてスタートしたので…。

武山 了承したのはこのままではだめだと納得したからですか？

MT そうだと思います。それで日数も増やしていったんじゃないかな。

武山 それから程なく、今度は接客で壁にぶつかり、カフェの作業をやめたいとまで言われましたね。

MT (接客は)無理だと思いました。考えている通りにできなくて…。職員さんには言葉遣いとか丁寧だと言われても自分では使い慣れてないのでうまく言葉が出てこない感じです。

カフェで接客するMTさん



言葉が届かかなと悩んでました。
MT 無理してやっているので。すごく疲れるんですけど、でもだからいいやという感じにはならなくて。相手がどう受けとっているかは別なので。
武山 でも今はまだまだだなどと思いつながら前向きに取り組んでおられますね。

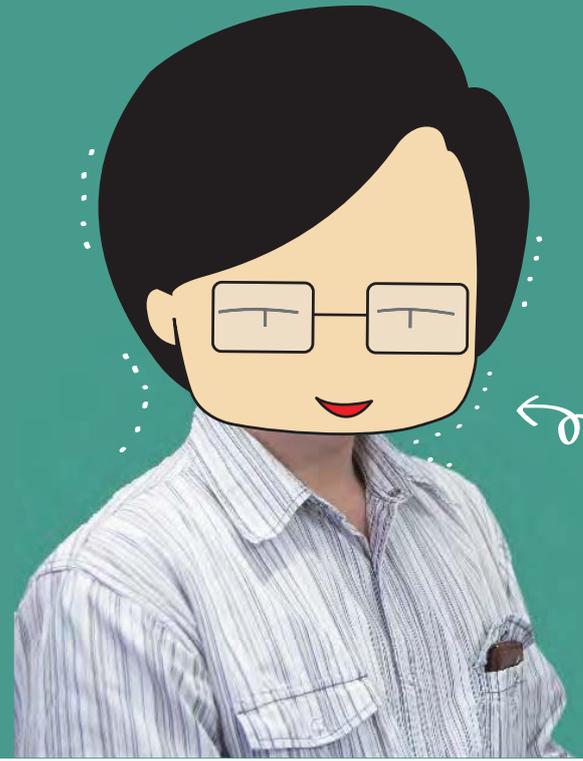
MT 不安に感じる度合いが、今は前よりマシかな。前は一生懸命丁寧な言葉を探してましたが、今は自然に言葉が出るようになってきたと思います。今、教わる立場から教える立場に変わってきて、いい加減に仕事をしていると下の人にも伝わってしまいますし、今も勉強中です。
武山 以前、やめたらシフトの穴をどうするのか尋ねたら知りませんという感じだったのが、今では責任もって作業されていて素晴らしいです。
MT 僕は考えないようにしてるんです。僕の場合、考え始めるとマイナスにいく傾向にあるので、あれこれ考えて思いつめないようにしてます。
武山 対処法を身につけられたんです

ね。前より楽ですか？
MT そうですね、楽になりました。
武山 本当これまで投げ出さずよく踏ん張って来られたと思います。
MT そうですね。迷いながらも続けることができました。8年積み重ねて、大分前に進んだと思います。人と接するのにも前よりしんどくないです。でも、笑顔は今もしんどいです。周りに不快な思いをさせているかと思うんですが、できない自分で悩んだりします。
武山 今は難しいかもしれませんが、これも積み重ねていけたらいいですね。
MT 苦手なことができるようになります。じゃないと、気持ち悪くて…。

18年間引きこもっていた
MTさん (40代、男性)

- 2008年 9月 週1回2時間から厨房作業でワークス利用開始
意欲あるが、体力は2時間が限界
- 2010年 4月 週5日のシフトになり、カフェ業務スタート
7月 意欲低下がみられ、元気がない
11月 ワークスを正式に退所希望
- 4月 何もしたくないと週1日のシフトになる
6月 このままではだめだと奮起し、週5日に戻る
積極的に作業に取り組むようになる
- 2012年 3月 接客のことで悩み、疲れてやる気がなくなる
- 2013年 3月 明日にでもカフェをやめたいと業務報告に残す
5月 繁忙時でも優先順位を考え、丁寧に作業される
- 2015年 4月 A型を目指したいと思うようになる
明るい表情、雰囲気がみられる
デイケア卒業

「笑顔を作るのは今もしんどい」



精一杯の笑顔

あとは今後カフェで教える立場として、新しくカフェに入る利用者さんに作業の割り振りをできるようにしたいです。今までは自分のことで精一杯だったんですが、もう少し自分の作業に自信を持てたらできるかなって。それでいずれば一般就労したいですね。卒業される方がいると、僕も立ち立ちというか、卒業できるようにしないといけないかなと。一般の環境はとても厳しいと思うので一歩踏み出すことにすごく勇気がいりますが、そんなことも考えたりしています。
武山 これからもチャレンジしていかれるというところで頑張ってください。最後に他利用者にメッセージはありますか。
MT そうですね、考え過ぎないようにしてください。考えても悪い方向に結びつけやすいです。僕は小さい頃からのクセだと思っているので「あ、またクセが始まった」と思って、考えないといけない理由も意味もないから思考をやめた方がいいと言いつけてます。あまり深みにはまらず、落ち込み過ぎてダメーじがくるというところは減りました。「思考停止」と言い聞かせていったらできます。
武山 ありがとうございます。MTさんの働く姿を通して、周囲の人のために何かしたい、との思いに変わったときに、大きな前進が与えられるのかなとつくづく思うようになりました。お客様のために、自分の後輩のために… MTさんの思いは他者に注がれ、それが周囲にプラスの連鎖をもたらしてくれていると思います。本日はありがとうございました。

いつもありがとうございます

ご支援ご協力者様 <2~4月>

【後援会協力者個人様お名前】

今福秀子様	島田喜代子様
貝出久美子様	千井学様
梶村慎吾様	中土井信昭様
兼松哲夫様	中野富美子様
兼松好子様	鍋島泰雄様
鎌倉輝子様	鍋島久代様
蒲池国光様	成瀬茂子様
蒲池ヒロ子様	新山和子様
北村武司様	畑陽子様
北村洋様	松井孝典様
北山繁美様	松本敬子様
京野隆之様	宮嶋昇様

【後援会協力者団体様お名前】

コーラス同好会 早蕨様
みたまキリスト教会様
Jフレンズ京都 小財恵美子様

【ご寄付・ご寄贈者様お名前】

同志社中学校 宗教部
CIFジャパン様
宗教法人西雲寺様
大島久美様
杉野男様

*万が一、もれがございましたらご一報くださいますようよろしくお願いいたします。

後援会入会のお願い

社会福祉法人ミッションからしだね後援会は「ミッションからしだね」を応援することにより、地域で暮らす障害者、とりわけ精神障害者の方々をサポートすることを目的とした団体です。後援会の趣旨に賛同していただける方を募集しております。会員様には機関誌やカフェ・トライアングルの情報、様々な催しのお知らせなどをお届けします。

■年会費

個人様 1口 3,600円
団体様 1口 10,000円

■会費振込先

郵便振替
口座番号：00970-2-222380
加入者名：社会福祉法人ミッションからしだね後援会

あっ！
ケーキが...



お便り募集中！！

通信を手にとってください、ありがとうございます。からしだね通信を今後もますます良いものにするため、ご意見・ご要望・ご感想をぜひお聞かせください！どうぞよろしくお願い致します。

送り先は→→→〒607-8216 京都市山科区勸修寺東出町75
「からしだね通信作成委員会」行

次号は9月1日発行です！